

ガジャマダ大学 インドネシア

9月1日～9月14日

工学部 機械システム工学科

1年 安達香奈子

初めての海外であったため、いろいろと不安がありましたが、現地に着いて現地の学生が日本語で迎えてくれたのでとても安心しました。私の場合すでに山形大学の日本人学生の方が授業を行っていたので、その授業を見て流れをつかんでいきました。授業内容としては、ひらがな・カタカナ・挨拶・自己紹介や動画・道具を使った日本の文化について説明しました。始めのうちは、教える日本人の数も多くはなかったため、生徒をレベルで分けることなく、みんなで一緒に授業をしていましたが、途中から「ビギナーコース」と「アドバンスコース」に分けて授業を行いました。「ビギナーコース」はひらがなが読めない人から日常会話を学ぶ人までいたため、特別にマンツーマンで教えるといった工夫をしました。日本語と英語と日本語の読み方をローマ字で書いたものをホワイトボードに書き、みんなで一緒に読むという形で授業をしていました。道の訪ね方、職業、体の部位の名前、日常で使う挨拶や言葉などを紹介しました。「アドバンスコース」の人は本当に日本語が上手で、日常会話はもちろん「めっちゃ」...などの今の若者言葉を使ったり、日本の武将の話をしていたりして、日本について教えに来ているはずの私達日本人が「へえ～」と言ってしまうこともありました。そんなアドバンスコースでは、「日本語」というより「日本について」を中心に授業を行っていました。立命館大学の三年生の方で日本について詳しく知っている方がよく日本語教室の助っ人として来てくださっていたので、その方に助けをもらいながら進めていきました。たとえば、「日本に行く」というテーマをきめて、どんな空港があるか、そこから東京駅に行くにはどうするか、その後東京、大阪、京都、神戸などのどこを観光したいか生徒に調べてもらってそれをもとに生徒から日本語で「自分が行きたいところは何か有名で、どんなものがあるのか」を説明してもらい、といった、あるテーマからどんどん展開させていけるような授業をしていました。また、漢字を教えたり、日本語の歌の歌詞を解説したりもしました。

日本語教室がない休日は現地の学生がいろいろな所へ連れて行ってくれました。私は二週間の滞在期間の中で四日間休日を過ごしました。ジョグジャカルタから車で二時間かけて海に行ったり、sunriseを見て、ボロブドゥール遺跡を見て、sunsetを見るという一日を過ごしたりもしました。またちょうど私が滞在していた時期に”Jogja Japan week”というものが大学構内で開催されていました。そこではたこ焼きなどの日本の食べ物や、日本の文化、また「雪」を再現した部屋などがあったり、日本の歌を歌うステージやゲーム、そして“ドラえもん”のテーマソングに合わせて踊るちょっと変わった盆踊をするといった

日本を楽しむようなイベントがありました。

今回このプログラムに参加させていただいて、本当によかったと感じています。今まで外国の方と交流した経験も少なく、英語もうまく話せるわけではない、といった不安ばかりでしたが、現地の学生にあたたかく迎え入れてもらい、たくさん助けてもらうことで二週間過ごすことができました。現地の学生には本当に感謝しています。インドネシアはインドネシア語でイスラムの人が多く、日本人は日本語で無宗教の人が多く...しかし実際に会って一緒に過ごす時に、宗教や言語による壁を感じることはありませんでした。このプログラムを通して、実際に行き、会って、交流することで初めて分かったことです。また様々な環境の中で生きる人に対して、見たものや聞いたことからいろいろなイメージを持つことは必要なことであるが、それだけを思い込んで判断するのではなく、積極的に交流をし、もっと相手について知ろうとすることの大切さを改めて考えることができました。

私はこのプログラムでより多くの人との交流を大事にしようと思いました。拙い英語で話しかけ、何とか自分の伝えたいことを身振り手振りで伝えようと心がけました。今までは日本人に囲まれて生きてきたため、日常で英語を使う必要はなく、そのために始めのうちは英語で話しかけることに積極的になれませんでした。しかし、いろいろな人と交流をしていくうちに少しずつ自分から話しかけることに抵抗がなくなっていき、インドネシアに行く前と比べると、英語を話すことへの恐怖は少なくなったと思います。

最後に、今後の展望として、これからはもっと新しいことに挑戦しようと思っています。このプログラムに参加して海外に行くことも私にとっては新しい挑戦でした。このプログラムで出会った人たちはみんな夢を持っていて、一人一人がその夢を叶えるために努力していました。私もみんなを見習って、夢を叶えるためにどんどん新しいことにチャレンジしていきたいと思います。インドネシアで出会った人たちから学ぶことは非常に多く、これからの私のモチベーションに繋がることばかりでした。この出会いを大切に、いつか夢を叶えて恩返しをしたいと思っています。



